

令和5年度第1回利用者懇談会開催結果概要

- 1 日 時 令和5年10月30日（月） 13：30～15：00
- 2 会 場 埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）
- 3 出席委員 藤田委員長、田村副委員長、青柳委員、佐藤委員、渡部委員、
渡辺委員
事 務 局 新井所長、渡邊副所長、木村副所長、薄井事業コーディネータ、
奥ノ木事業・相談担当部長、伊藤相談担当課長、阿部管理担当課長
- 4 議 事
 - （1）令和5年度事業の状況について
 - （2）令和5年度事業計画（案）について
 - （3）意見交換

【意見交換・質疑応答要旨】

委員：私が所属するセンターでは、毎年、講座を実施しているが、講師の人選にいつも頭を悩ませている。With You さいたま主催の講座は人選が素晴らしいと思っている。こうした講座の講師ができる方がこんなにもたくさんいるのかと、いつも感じている。去年、「おとなの性教育」をオンデマンドで観たがとても面白かった。高校生くらいの子を持つ職員に、絶対観た方がいいよと勧めた。性教育はオープンにすることが難しい分野であるが、With You さいたまのような施設でやっていただけると勧めやすい。また、パネルの貸し出しについては、いつも活用させていただいている。こんなに豊富な種類を取り揃えているのは、全国でも数少ないのではないかな。しかも職員が作成していると聞いた。結構な労力が費やされているのではないかな。内容もアップデートされており、自治体からするとありがたいことである。

委員：困難を抱えた女性、DV防止の取組など今一番必要とされている喫緊の課題に取り組んでいるという印象がある。先ほど話があった「おとなの性教育」も、今いちばん必要なことだと思う。この職員体制でこれだけの事業をこなすのは大変なことだと思う。質問は、出前講座では、中学校、高校をどれくらいカバーされているのか。何年かかけてローラー作戦とかやっているのか。「自分らしさ発見講座」や「男性のためのグループ相談会」は貴重な活動だと思うが、グループ相談会開催後、どのような形で参加者同士の繋がりをもつようにするのか。

事務局：出前講座の件数について、令和4年度は全部で59件、令和3年度が53件なので少し増えている。派遣先については、男女共同参画基礎講座は女性センター又は自治体など、災害については大学や自治体である。デート

DV防止は、中学校、高校、特別支援学校、大学だが、特に中学校が増えてきている。いずれも「県政出前講座」という県の枠組みで実施しており、申込みに基づいて講師を派遣するため、ローラー作戦のように自分たちで計画をたてているわけではない。

グループ相談会開催後の緩やかな繋がりについては、この講座やグループ相談会は毎回テーマを変えて開催しており、参加者も違うため、そのメンバーだけで集まって何かをするということはない。ただ、その際に別の講座や電話相談などの案内をしているので、新たな支援に繋がることもあると思われる。

委員：女性リーダー育成講座について、去年は講義中心だったところ、今年はフィールドワークを取り入れるなど実践的カリキュラムになっているということだが、具体的にはどのようなことか。

また、男性の相談が増えていることについて、相談しにくいという特性とともに、男性のニーズに応えていくために何か考えているのか、相談窓口を増やしただけでも相談する方にとってはとてもありがたいことだと思うが。次年度に向け、どのような切り口を考えているのか。

事務局：リーダー育成講座のカリキュラムの変更については、昨年度までは課題研究テーマが「女性の貧困」「女性の政治参画」など複数が設定されており、講義中心であったが、今年度は、令和6年4月の困難女性支援法施行を踏まえ、「困難を抱える女性」の一本に絞り、施設見学などのフィールドワークも取り入れたものとした。テーマを一つとしたことで、講義やフィールドワークにしても、実際に活動しておられる方々からお話を聞くにしても、内容を絞って深掘りすることができたと思う。

男性からの相談が増えている理由は不明だが、もしかしたらデートDV防止講座での草の根的な啓発などがあるのかなとは思っている。男性に対する事業については、令和3年までは「メンズプロジェクト」という名称で男性のための講座を開催していたが、他の事業との関連もあり、昨年度は実施していない。今年度は男性のためのグループ相談会を行っている。来年度についてはまだ決まっていないが、男性向けの視点というのが必要になってくると思う。

委員：「性暴力防止セミナー」や「おとなの性教育」はそれぞれ大切なテーマだと思うが、何かが発生した後での対応という感じがする。その前の育ちのところで何か、例えば性について、大人にとって「子供の頃から受けた教育」に切り込んだ講座を今後は考えていただきたい。また、子供の視点に立った「子育て」への振り返りが今後は必要なのではないかと思う。性被害なども

あるが、被害に遭ってからではなく被害に遭わないような「育ち」をしていく必要がある。

委員：出前講座の3講座は、デートDVだけでも悪くはないと思うが、3講座を一貫して聞かせていただいた時に、すごく統一感のある社会の見方ができると思う。例えば大学生が受講することで、自分の身を守り、もしかしたらその瞬間にでも受けているかもしれないDVを、おや、おかしいぞと思って、そしていずれ親になっていく。自分のこととして考えられた時、成長をしていくのだと思う。出前講座から女性リーダー育成講座など、様々なものが一貫していると思う。

事務局：一部の大学では、当センターで授業を行い、その際にセンター職員が「男女共同参画基礎講座」「防災」「デートDV」の講義を行っている。また、過去に女性リーダー育成講座を受けた方は、もともと同年代の女性と活動していたところ、女性リーダー育成講座受講を機に違う世代の方々と一緒に学び、行動することで視野が広くなり、世界が広がったとおっしゃっていた。

委員：そのような機会が広く皆さんに届くという意味で、良い講座だと思う。

委員：女性リーダー育成講座を皆に受講させたいのだが、残念なことに当団体の年間計画が前年度末には決まっており、重要な行事と重なるため受講させられない。いい講座であっても、連続講座の場合はやはり一、二回でも参加できないと、受講自体をあきらめることになってしまい、他の講座も団体行事と重なり、いつも残念だと思っている。事業案内のパンフレットは、いつできるのか。

事務局：パンフレットは新年度になってから作成している。大まかな計画は前年度内に決まることもあるが、今年度は講師との調整などに時間を要し、特に決まるのが遅くなってしまい、申し訳なかった。今後は少しでも早くご案内できるように努力する。また、リアルで参加できなくても、講演会によってはオンデマンドでの動画配信もあるので、ぜひご活用いただきたい。